

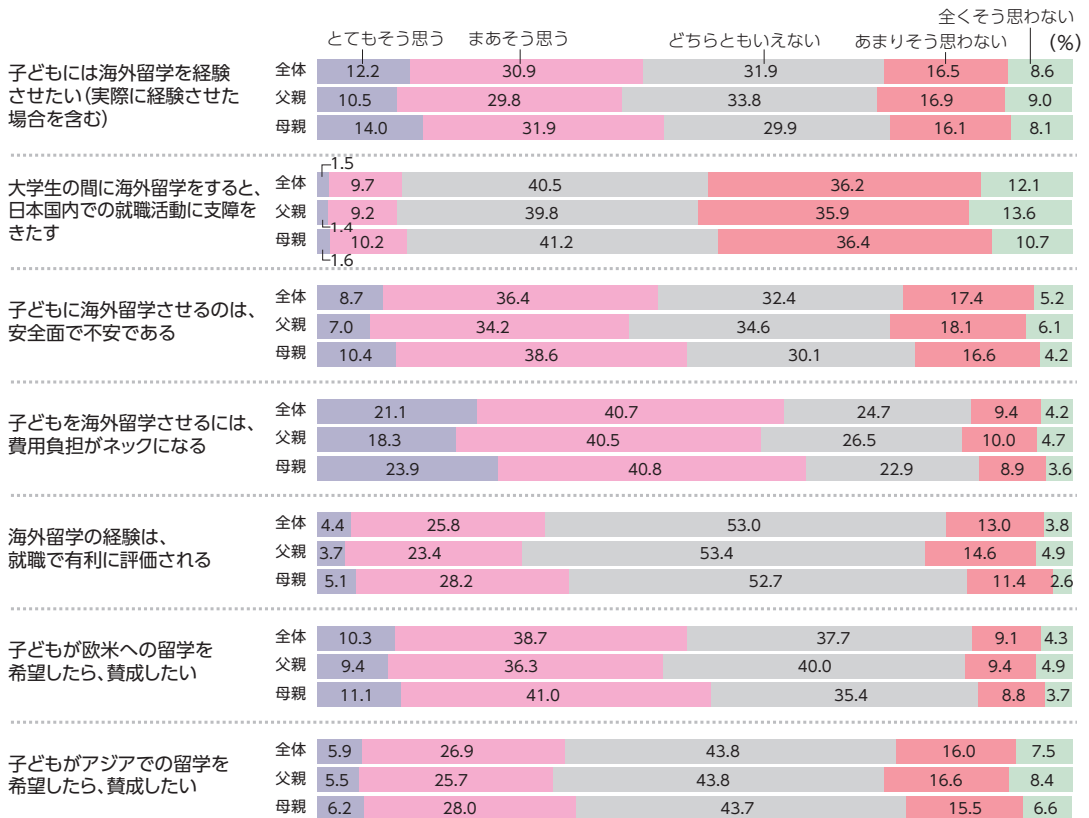
⑬ 海外留学に対する意識

子どもに海外留学をさせたいと考える親は4割。一方で、6割の保護者が費用負担をネックに感じている。

Q

海外留学についてのあなたご自身のお考えをうかがいます。次にあげる内容について、あてはまるものを1つずつお選びください。

図 13-1 海外留学に対する保護者の意識(全体・父母別)

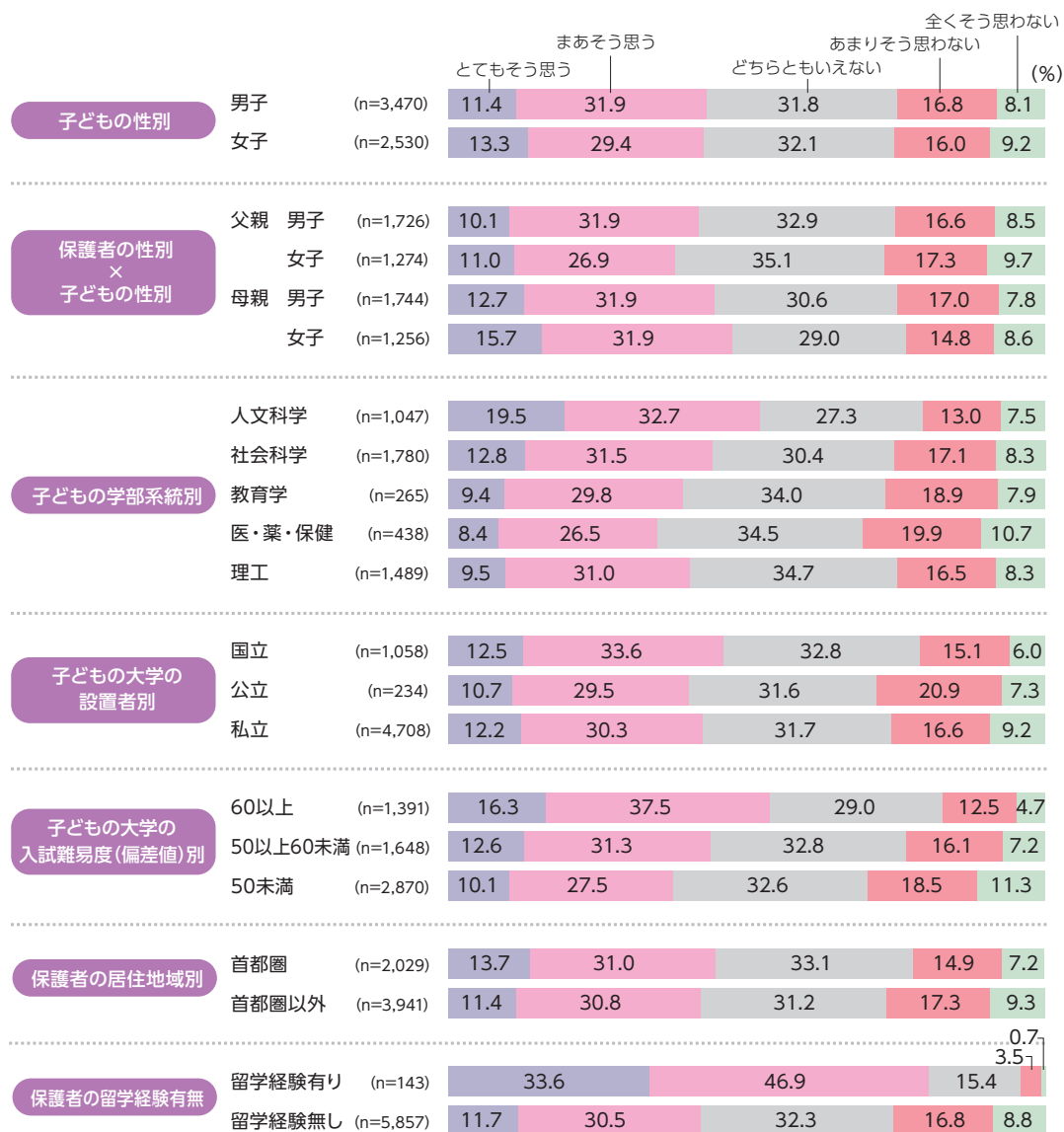


注) サンプル数は全体6,000名。うち父親3,000名、母親3,000名。

「子どもには海外留学を経験させたい(実際に経験させた場合を含む)」と考える保護者は43.1% (「とても+まあそう思う」の%、以下同)であった。一方で「費用負担がネックになる」との回答が61.8%にのぼり、「安全面で不安である」と45.1%が感じている。「日本国内での就職活動に支障をきたす」については1割程度とさほど高くはなく、むしろ否定的な意見(「あまり+全くそう思わない」の%)が48.3%と5割近くを占めている。また「海外留学の経験は就職で有利に評価される」と考えている保護者は30.2%で、これについては「どちらともいえない」が5割と多くなっている。行き先については、欧米は5割の保護者が肯定的だが、アジアについては3割である。父母別では、母親の方が留学をさせたいと考えている率がやや高い。

留学経験のある保護者の多くは、子どもにも海外留学を経験させたいと思っている。

図 13-2 「子どもには海外留学を経験させたい(実際に経験させた場合を含む)」の属性別回答分布



注1)学部系統別の分析はサンプル数の多い5学部系統のみとし、その他は省略している。学部系統の詳細はp.3を参照。

注2)入試難易度の詳細はp.3を参照。

注3)「首都圏」は東京・神奈川・埼玉・千葉の1都3県としている。

保護者の属性別に、海外留学の意向「子どもには海外留学を経験させたい(実際に経験させた場合を含む)」をみると、留学経験のある保護者の8割が肯定的に回答している(「とても+まあ思う」の%、以下同)。学部系統別には、「人文科学」系統で52.2%、大学の入試難易度(偏差値)別には「60以上」で53.8%と高い。